

2023.12.08

文責 山口 信雄

第1回中国地方ファシリティネットワーク交流会 報告

開催日時：2023年11月24日（金） 11：30~17：15

開催場所：広島大学 フェニックス国際センター ミライクリエ

（機器見学 工学部 A4 棟、遺伝子実験棟、機器分析 J 棟、先端科学総合研究棟）

参加者名：山口大学 渡邊政典※ リサーチファシリティマネジメントセンター事務室長、

鳥取大学 技術部 松浦祥悟※ 技術専門職員、水田敏史 技術専門職員

岡山大学 総合技術部 塚野萌美※ 技術職員

広島大学 コアファシリティ推進室長 楯真一 教授、技術センター長 水田勉 教授、

自然科学研究開発支援センター機器共用分析部門長 池上浩司 教授、学術・

社会連携室 大門直清 主査、技術センター技術統括 塩路恒生 技術専門員、同共

通機器部門長 藤高仁 技術専門員、同班長 山口信雄※ 技術専門職員、同班 柿村

順一 技術専門職員、同班 森原なぎさ※ 技術主任、自然科学研究支援開発センタ

ー 平野尚子 技術員、同入砂文子 技術員（以上現地参加）、他オンライン参加・

申込者 計 44 名 ※は発表者（旅費支給）

プログラム（13：00~16：00 は Zoom で配信）

11：30 広島大学集合 ランチョンミーティング

（広島大学内ミライクリエ三河屋珈琲にて軽食・自己紹介・雑談）

13：00 開会挨拶（広島大学コアファシリティ推進室長 楯真一教授）

ミライクリエ小会議室（ここからオンライン配信、上限 300 名）

13：10 基調講演 技術職員のキャリアパスと育成について～山口大学総合技術部の場合

（山口大学 RFMC 事務室 渡邊政典 事務室長）発表 40 分、議論 10 分

14：00 広島大学の技術職員・コアファシリティ組織の現状

（広島大学 山口信雄技術専門職員）発表 20 分、議論 10 分 以下発表時間同じ

14：30 岡山大学の TC カレッジへの取り組み～医工系 TC コースの紹介

（岡山大学 医学系技術課 塚野萌美様）

15：00 鳥取大学技術部による共用機器運営支援と部内運営の取り組みの紹介

（鳥取大学 技術部 化学バイオ・生命部門 松浦祥悟 技術専門職員）

15：30 意見交換

16：00 休憩（オンライン配信終了）

- 16:10 霞総合研究棟（医歯薬系キャンパス）案内（オンライン・動画 10分）
- 16:20 工学部 A4 棟 NMR、遺伝子実験施設 現地案内
- 16:50 機器分析 J 棟、先端科学総合研究棟 現地案内
- 17:30 ミライクリエにて閉会・解散
- 19:00 意見交換会（東広島 地場飯&地酒 満天、自由参加）

内容

山口大学の基調講演を筆頭に、各大学の技術職員組織の構成や職階制度などの報告が行われ、現状の問題点が協議された。特に業務内容の多様さから生じる業績の現れ方、評価の難しさが取り上げられ、待遇改善の必要性は認められるものの公平性を熟慮する必要があることが示された。さらに大学の研究力向上に欠かせない技術職員の研究支援能力の向上、マネジメント業務への関わり方についても意見が交わされた。中国地方ファシリティネットワークについては、広島大学側より内容や将来像の提案を行った。近く同 HP の立ち上げが広島大学コアファシリティ推進室の支援で行われることが発表された。近年始まった TC カレッジの受講生が3名現地出席しており、これに関する言及も多く見られた。

各共用機器の見学を現地或いは動画で行った。主に設置スペースや維持費、料金計算などについて質問が上がり、装置更新の現状に関しても興味を持たれた。

意見交換会では忌憚ない交流が行われ、各大学における技術職員の実態や、業績（施設・機器を利用した論文）の収集方法などの話題が提供された。本交流会を継続したいとの意向もあり、今回の出席者等を通じて来年度に第2回（場所・時期未定、広島大学に限らない）を行う方向で検討することとなった。

